

上尾合同教会 主日礼拝

2020年 5月 24日

- * ご家庭で、二人以上で礼拝をされる場合には、どなたか一人が 司会者 になって下さい。司会者以外の方は下記の太字の言葉をお読み下さり、司会者は太字でない言葉をお読み下さい。
- * ひとりで礼拝を為さる時は、すべてを通してお読み下さい。
- * 讃美歌は歌える環境であれば、讃美して下さい。そうでなければ心の中で歌いましょう。
- * 説教の時に、ホームページにある本日の説教録音をお聴き下さるか、『説教全文』をお読み下さい。インターネット環境がない方のために、当日昼に各週報棚に『説教全文』をお配りします。

《神のみ前に近づく》

序 詞 (ヴォータム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 18-1節 (心を高くあげよ！)

共同の祈り (出席者全員で声を合わせます)

父なる神さま、あなたはこの世界を創造され、一人ひとりに生きよと命を与えておられます。ウィルスの猛威にさらされ、死の恐怖が世界中を覆っている、この状況を良しとされないと信じます。どうか私たちを憐れみ、救いを与えて下さいますように。特に、病との戦いにある方々、命を救うための働きに従事しておられる方々、孤独や生き苦しさを感じながらも自制や自粛を貫こうとしておられる方々を支え、守って下さいますように。

一方では、経済を優先して禁止や自粛を緩和していこうとする動きもあります。どうか、私たちがこの世の倫理に振り回されることなく、「草は枯れ、花はしぼむが、わたしたちの神の言葉はとこしえに立つ」とのみ言葉に生きることが出来ますように。そのために、今、私たちに語り掛けて下さい。それぞれの場所で献げる礼拝を支え、守って下さい。あなたを礼拝する私たちの思いをよしとして、祈りと讃美を受け入れて下さり、み前にぬかずく一人一人を祝福して下さいますように。

主よ、日本の他所にある教会からは、礼拝を再開したという喜びの声が届いています。私たちもまたその喜びに連なる日が与えられますようにと祈ります。その日が来るまで、遠くからでも互いに声を掛け合える仲間となっていくことができますように。いつか日曜日に再会できることを楽しみにして、与えられた場所で命と体を大切に生きて行けますように。

「主よ、わたしの叫びが、み前に届きますように。

み言葉があるがままに理解させてください。

わたしの懇願(たんがん)がみ前に達しますように。

仰せのとおりにわたしを助け出してください。

わたしの唇から讃美があふれるでしょう

あなたが掟(おきて)を教えてくださいますから。」

(詩編119:169~171)

*しばらく 黙禱の時 をもちます

主よ、再び集められ、共にあなたを讃美する礼拝を献げられる時が、一日も早く備えられることを心より祈り願います。主の御名によって、アーメン。

《神のみ言葉の宣教》

聖 書 (できれば朗読して下さい)

エゼキエル書 1章 26~28節 (旧p1297)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

ヨハネの黙示録 4章 1~5節 (新p457)

これはキリストの福音です。

主なるキリストを賛美します。

讃美歌 197-1, 2節 (ああ主のひとみ)

説 教

『黙示録①—ここへ上って来い』

*ここでインターネットにある説教録音を再生下さるか、『説教全文』をお読み下さい。

祝福の祈り

武田 真治 牧師

《神への応答》

讃美歌 356-1, 2節 (インマヌエルの主)

祈 禱 (ご自身で祈ります)

*集っておられる方が一人ずつお祈り下さい。時間がない場合等、代表の方がお祈り下さい。

献 金

*各自用意した献金袋に入れ、後日お献げ下さい

主の祈り (声を出して祈りましょう！)

讃美歌 91-1節 (神の恵みゆたかに)

祝 禱

*説教録音の最後に「祝禱」を祈ります。

黙 禱 (心を静めて祈ります)